

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和2年10月16日

報告事項件名	頁
(1) アレフ（オウム真理教）対策について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 令和2年度地区防災計画の進捗について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(3) 医療的ケア児ネットワーク協議会災害対策部会の開催結果について・・・	6

(危機管理部)

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和2年10月16日

件名	アレフ（オウム真理教）対策について
所管部課	危機管理部危機管理課
内容	<p>アレフ（オウム真理教）対策について下記の通り報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 観察処分の更新を求める署名活動</p> <p>(1) 署名活動報告</p> <p style="padding-left: 2em;">7月から 各町会・自治会へ署名用紙送付 各地区町連へ署名協力依頼 区内各団体へ署名協力依頼</p> <p>(2) 署名収受件数 9月30日（水）現在 1, 807筆、1, 001, 751名分</p> <p>(3) 主な署名協力団体</p> <p style="padding-left: 2em;">町会・自治会 東京都町会連合会 商店街 高齢者施設 私立保育園 私立幼稚園 区内事業所 日本労働組合総連合会東京都連合会 ほか</p> <p>(4) 署名提出日 令和2年9月30日（水）</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 提出日以降にご協力いただいた署名は、随時、公安調査庁へ提出する</p> <p>2 オウム真理教対策市区町連絡会による法務大臣、公安調査庁長官、公安審査委員会委員長への要請行動</p> <p>(1) 日時 令和2年9月30日（水）午後5時から</p> <p>(2) 場所 法務省及び公安調査庁、公安審査委員会事務局</p> <p>(3) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オウム真理教対策関係市区町連絡会から要請書の提出 ・ 各住民協議会から署名の提出 ・ 足立区長、世田谷区長から要請書の提出
問題点・今後の方針	今後も、区として、住民協議会活動の支援を継続していく。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和2年10月16日

件名	令和2年度地区防災計画の進捗について																		
所管部課名	総合防災対策室災害対策課、調整担当課																		
内 容	<p>今年度進めている、地区防災計画の新規策定（12団体）及び既計画（平成29年度策定の10団体）の見直しに伴い実施するワークショップ等について、下記のとおり報告する。</p>																		
	<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 ワークショップについて 順次ワークショップを開催し、策定及び見直しを進めていく。特に、新規策定団体は、必要に応じて防災視点でのまち歩きを行い、防災マップの作成も進めていく。</p> <p>(1) 新規策定：ワークショップを概ね3回実施予定 (2) 既計画の見直し：ワークショップを概ね2回実施予定</p> <p>2 新規策定団体（12団体） (1) 小台・宮城地区の町会・自治会（6団体） 水防体制再構築本部において、水害時のコミュニティ・タイムライン策定に取り組んでいる町会・自治会（小台町会、宮城町会、宮城第三団地自治会、尾久橋スカイハイツ自治会、ラ・セーヌ小台自治会、ライオンズマンション荒川遊園アクアステージ自治会）</p>																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">時 期</th> <th style="width: 65%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">令和 2年</td> <td style="text-align: center;">3月～4月</td> <td>住民アンケート実施 小台・宮城地区5,480世帯(回答：1,397世帯)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6月27日(土)</td> <td>検討部会発足式・第1回ワークショップ 場所：宮城小学校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7月18日(土)</td> <td>第2回ワークショップ 場所：江南中学校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9月6日(日)</td> <td>第3回ワークショップ コロナ禍を想定した避難所運営訓練 場所：江南中学校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10月</td> <td>順次地区防災計画の形式に取りまとめ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">令和 3年</td> <td style="text-align: center;">3月</td> <td>足立区防災会議に地区防災計画（案）を付議</td> </tr> </tbody> </table>			時 期	内 容	令和 2年	3月～4月	住民アンケート実施 小台・宮城地区5,480世帯(回答：1,397世帯)	6月27日(土)	検討部会発足式・第1回ワークショップ 場所：宮城小学校	7月18日(土)	第2回ワークショップ 場所：江南中学校	9月6日(日)	第3回ワークショップ コロナ禍を想定した避難所運営訓練 場所：江南中学校	10月	順次地区防災計画の形式に取りまとめ	令和 3年	3月	足立区防災会議に地区防災計画（案）を付議
	時 期	内 容																	
令和 2年	3月～4月	住民アンケート実施 小台・宮城地区5,480世帯(回答：1,397世帯)																	
	6月27日(土)	検討部会発足式・第1回ワークショップ 場所：宮城小学校																	
	7月18日(土)	第2回ワークショップ 場所：江南中学校																	
	9月6日(日)	第3回ワークショップ コロナ禍を想定した避難所運営訓練 場所：江南中学校																	
	10月	順次地区防災計画の形式に取りまとめ																	
令和 3年	3月	足立区防災会議に地区防災計画（案）を付議																	

(2) 地域危険度が高い町会・自治会（6団体）

※ ◎：事前説明

町会・自治会長へ事前に事業内容等について説明

（必要に応じて町会・自治会の定例会に出向いて説明）

①：第1回ワークショップ

②：第2回ワークショップ

③：第3回ワークショップ

令和2年10月12日現在

町会・自治会名	ワークショップ日程等	参加人数等
千住仲町会 (危険度：4)	◎： 8月11日(火)	町会長他3名
	①： 9月25日(金)	18名
	②： 11月 7日(土)	
	③： 12月～ 1月	
興野町会 (危険度：5)	◎： 7月31日(金)	町会長
	①： 11月12日(木)	
	②： 12月～ 1月	
	③： 2月～ 3月	
八千代自治会 (危険度：4)	◎： 8月 7日(金)	自治会長他3名
	①： 9月23日(水)	7名
	②： 10月～11月	
	③： 12月～ 1月	
都営梅田三丁目 アパート自治会 (危険度：4)	◎： 8月4日(火)	自治会長他3名
	◎： 9月5日(土)	自治会長他9名
	①： 10月～11月	
	②： 12月～ 1月	
	③： 2月～ 3月	
興野北町会 (危険度：4)	◎： 8月 6日(木)	町会長
	①： 9月13日(土)	21名
	②： 10月～11月	
	③： 12月～ 1月	
西新井15部町会 (危険度：4)	◎： 8月 6日(木)	町会長
	①： 10月 3日(土)	19名
	②： 11月～12月	
	③： 1月～ 2月	

- 3 既計画の見直し団体（10団体）
 平成29年度に策定した町会・自治会
 ※ ◎：事前説明
 町会・自治会長へ事前に事業内容等について説明
 （必要に応じて町会・自治会の定例会に出向いて説明）
 ①：第1回ワークショップ
 ②：第2回ワークショップ

令和2年10月12日現在

町会・自治会名	ワークショップ日程等	参加人数
千住中居町会 千住龍田町町会	◎：10月～11月	
	①：11月～12月	
	②：2月～3月	
柳原東町会 柳原西町会	◎：10月～11月	
	①：11月～12月	
	②：2月～3月	
中曽根町会 本木一丁目南町会	◎：8月28日(金)	町会長
	①：11月～12月	
	②：2月～3月	
大谷田東自治会 長門南部町会 長門北部自治会 長門西町会	◎：10月～11月	
	①：11月～12月	
	②：2月～3月	

問題点
今後の方針

- 1 新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながら、町会・自治会とも相談し、ワークショップ開催など柔軟に対応していく。
- 2 広く自主的な計画策定を促していくため、「地区防災計画策定の手引き《地震編》（令和元年10月完成）」に続き、《水害編》の作成を進めている。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和2年10月16日

件名	医療的ケア児ネットワーク協議会災害対策部会の開催結果について
所管部課	総合防災対策室災害対策課、障がい福祉推進室障がい福祉課
内容	<p>医療的ケア児ネットワーク協議会災害対策部会を開催し、意見交換をおこなったので、下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 目的 医療的ケア児に対する災害時支援、避難所・福祉避難所における配慮等に関する意見交換を行い、対応について検討するため。</p> <p>2 開催日時 (第1回) 令和2年8月25日(月) 午後1時30分～3時00分 (第2回) 令和2年9月24日(木) 午後1時30分～3時00分</p> <p>3 部会の構成 医療的ケア児ネットワーク協議会委員から選出した6名(委員長、医療・福祉関係者3名、家族会2名)に、オブザーバーとして専門家(NPO法人日本防災士機構)1名を加えて構成した。</p> <p>4 内容 (1) 水害対策「分散避難」について (2) 避難所運営の基本ルールと福祉避難所について (3) 医療的ケア児等に必要な支援について</p> <p>5 主な意見 (1) 普段、使用している医療機器等を具体的に想定する必要がある。 (2) 自助には限界があり、身近な共助の仕組みづくりが重要である。 (3) 医療的ケア児は人数も限られるため、個別に避難先を決めて欲しい。 (4) 避難計画とともに、訓練も大切になる。 (5) 家庭内、避難所における医療機器等への電力供給を確実にして欲しい。</p>
問題点・今後の方針	災害対策における医療的ケア児の避難行動において、分散避難の重要性を周知し、具体的な避難先等を引き続き検討していく。